

## 【 研究開発学校の取組 】

林崎小学校は、里浦小学校、鳴門市第二中学校と共に、「文部科学省研究開発学校（外国語教育）」の指定を受け、平成25年度より4年間の研究開発を実施しています。

1年目の平成25年度は「準備期間」と位置づけ、「外国語活動の開始時期」「教科化や文字学習導入の可能性」「中学校との接続を意識したカリキュラムの在り方」等について共に研究を進めてまいりました。

2年目となる本年度は、研究開発学校の特例により、新しい教育課程を段階的に導入いたします。研究開発学校制度の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 〈平成26年度教育課程の特例内容〉

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 1・2年生 | 英語活動  | 年間6時間程度実施 余剰時間を活用  |
| 3・4年生 | 外国語活動 | 年間35時間<br>・週1時間 「総合的な学習の時間」より活用<br>・「総合的な学習の時間」は35時間                       |
| 5年生   | 外国語活動 | 年間35時間<br>・週1時間 現行どおり  |
| 6年生   | 外国語科  | 年間50時間<br>・週1～2時間 外国語活動の時間（35時間）と「総合的な学習の時間」より15時間を活用<br>・「総合的な学習の時間」は55時間 |

#### ◆【英語活動】

外国語活動への導入段階。歌やゲーム等の体験活動を通して、異文化や外国語への興味・関心を高め、外国語の音声に親しませるとともに、コミュニケーションへの積極的な態度を養います。

#### ◆【外国語活動】

平成23年度から導入され、全国の公立小学校では、5、6年生で実施されています。コミュニケーション能力の素地（外国語への慣れ親しみ、言語や文化への気付き、コミュニケーションへの積極性）の育成が目標となり、教科ではなく、道徳等と同じ「領域」（教科外）に位置づけられます。

#### ◆【外国語科】

「教科」となり、英語を「読むこと」「書くこと」等を含む初歩的な英語の運用能力を養います。